

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 プロトコーポレーション  
 コード番号 4298 URL <http://www.proto-g.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

(氏名) 入川達三  
 (氏名) 清水茂代司  
 配当支払開始予定日

TEL 052-934-2000

平成20年11月18日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	11,768	—	3,052	—	3,061	—	1,836	—
20年3月期第2四半期	11,345	10.4	1,904	16.5	1,929	14.7	938	△2.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	175.52	—
20年3月期第2四半期	89.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	21,014	13,938	65.8	1,322.46
20年3月期	19,023	12,434	64.7	1,176.24

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 13,834百万円 20年3月期 12,304百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
21年3月期	—	35.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,400	6.6	5,005	32.7	5,020	30.8	3,025	64.6	289.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 ) 除外 2社(社名 株式会社プロトリンク、株式会社ボムルドットコム)

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	10,470,000株	20年3月期	10,470,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	9,145株	20年3月期	8,780株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	10,461,029株	20年3月期第2四半期	10,462,064株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月12日に公表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の連結業績予想は、本資料において修正いたしております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のわが国経済は、原材料価格の高騰による物価の上昇や景気先行きの不透明感により、消費の低迷が顕著となってきたことに加え、世界的な金融不安が企業活動に深刻な影響を及ぼし始めるなど、景気の減速感がますます強まってまいりました。こうした経済環境の中、当社グループの主要顧客である自動車販売業界におきましては、消費者の自動車離れも進行し、新車、中古車の販売台数が前年実績を下回るなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ブランドの確立を経営戦略上の重点課題と位置付け、自動車関連情報分野の更なる拡充と、生活関連情報分野の事業確立に取り組んでまいりました。具体的には、様々なユーザーから支持されるカスタマイズコンテンツの拡充とともに、ユーザーの利便性を追求したサービス（機能）の拡充を推進し、「Goo」をはじめとした商品ブランドの更なる強化に努めると同時に、『情報を未来の知恵に』をメッセージとした企業ブランドの確立を図ってまいりました。また、情報誌からインターネット・モバイルへの将来的なメディアチェンジも視野に入れ、ユーザーならびにクライアントニーズにマッチした商品・サービスの開発強化に取り組んでまいりました。

こうした取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主要事業である自動車関連情報分野において、インターネット関連商品の契約社数の増加が増収に寄与したことに加え、生活関連情報分野においても同様に売上拡大を果たしたことから、11,768百万円（対前年同期比3.7%増）となりました。営業利益につきましては、子会社の株式会社プロトデータセンターへの業務移管が完了したことによる原価低減効果が大きく寄与したことならびに、グループ事業の再構築を進め営業費用の抑制に努めたことにより3,052百万円（対前年同期比60.3%増）となりました。経常利益につきましては3,061百万円（対前年同期比58.7%増）、四半期純利益につきましても1,836百万円（対前年同期比95.6%増）と大幅な増益となりました。

事業のセグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

#### (1) 自動車関連情報

当社グループを取り巻く外部環境が厳しい状況で推移を続ける中、主要クライアントである中古車販売店の仕入から販売までの総合的な経営支援事業の確立、拡充を事業方針に掲げ、引き続き取引社数の拡大ならびにクライアント当たりの取引単価の維持、向上に努めてまいりました。

情報誌「Goo」、インターネットサイト「Goo-net」、モバイルサイト「クルマ情報・Goo!!」等の各メディアにおいては、掲載コンテンツ量の最大化とユーザーの利便性向上に努めたことにより、多くの消費者、ユーザーから支持を獲得し、メディアパワーの向上を図ることができました。また同時に、中古車販売店を支援する様々な取り組みに注力してきました結果、取引社数の拡大を果たし、増収を維持しております。特にインターネット関連事業では、中古車販売台数が伸び悩む環境下においても、契約社数の拡大と取引単価の上昇による売上拡大を果たしております。これは、当社のインターネット・モバイルメディアを利用するユーザー数の拡大を図るため、ユーザーニーズへの対応を継続的に進めてきたことが、クライアントの評価向上へとつながったものであります。

この結果、競争優位性の確立ならびに「Goo」ブランドの強化が図られ、売上高は11,030百万円（対前年同期比3.2%増）となりました。営業利益につきましては、外注コストの低減を目的に設立した株式会社プロトデータセンターへの業務移管が完了し、製作工程の内製化が進んだことならびに、連結グループの事業再編によって原価の抑制を図ったことなどから、3,859百万円（対前年同期比36.6%増）となりました。

(2) 生活関連情報

カルチャー情報事業「VeeSCH00L.com」、ケア関連情報事業「オアシスナビ」、「介護求人ナビ」につきましては、コンテンツの拡充とメディアパワーの向上に努め、ユーザー数の拡大に取り組んだことで、取引社数の拡大傾向が続いております。また、モバイルメディアを中心に高付加価値商品の展開を進めたことで、取引単価も上昇し収益拡大へとつながっており、この結果、売上高は544百万円（対前年同期比27.9%増）となりました。営業利益につきましては、ケア関連情報事業も黒字転換を果たし、28百万円（前年同期実績は19百万円の損失）となりました。

(3) 不動産

当社および株式会社リペアテックが自社物件の賃貸管理を中心に行い、売上高は94百万円（対前年同期比7.1%増）、営業利益は25百万円（対前年同期比32.3%減）となりました。

(4) その他事業

株式会社マーズフラッグのサイト内検索「MARS FINDER」において、取引社数の拡大による売上高の増加があったものの、連結グループの事業再編に伴う外部売上高の減少により、売上高は99百万円（対前年同期比28.1%減）となりました。減収となった一方で、サイト内検索「MARS FINDER」の拡販により株式会社マーズフラッグの営業収支が改善したことから、営業利益は59百万円の損失（前年同期実績は95百万円の損失）となりました。

なお、文中における「前年同四半期増減率」及び「前年同期実績」は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は21,014百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,990百万円増加いたしました。資産、負債及び純資産の状況につきましては、次のとおりであります。

①資産

第1四半期において土地・建物の取得及び未払法人税等の支払による支出が発生いたしました。当第2四半期において当該支出を上回る営業キャッシュ・フローを獲得したことで現金及び預金が増加したことから流動資産は13,423百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,128百万円増加しております。固定資産につきましては、第1四半期において事業用途の土地・建物を取得したことから有形固定資産が増加して7,590百万円となり、前連結会計年度末と比較して862百万円増加しております。

②負債

支払手形及び買掛金が減少したものの、未払費用及び未払法人税等が増加したことから負債合計は7,075百万円となり、前連結会計年度末と比較して486百万円増加しております。

③純資産

配当金の支払が261百万円あったものの、四半期純利益の計上により、利益剰余金が増加したことから純資産は13,938百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,504百万円増加しております。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物につきましては、前連結会計年度末と比較して1,368百万円増加し、第2四半期連結会計期間末残高は10,354百万円となりました。現金及び現金同等物が増加した主な要因につきましては、次のとおりであります。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払による支出が959百万円発生したものの、税金等調整前四半期純利益3,103百万円の計上や、前連結会計年度末と比較して売上債権が減少し、未払費用、前受金が増加したこと等により2,692百万円の収入となりました。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形、無形固定資産の取得による支出が1,067百万円あったこと等により、1,045百万円の支出となりました。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に当社において前期期末配当金の支払による支出が261百万円あったこと等により、262百万円の支出となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の連結業績予想につきまして、以下のとおり修正いたします。

## (1) 通期の連結業績予想

（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,800	5,004	5,000	3,000	286 77
今回修正予想 (B)	24,400	5,005	5,020	3,025	289 17
増減額 (B-A)	△400	0	20	25	—
増減率 (%)	△1.6	0.0	0.4	0.8	—
前期実績(平成20年3月期)	22,893	3,771	3,837	1,838	175 69

## (2) 修正の理由

景気の減速感が強まる中、個人消費においては節約志向が一段と高まってきており、当社グループの主要顧客である自動車販売業界におきましては、厳しい経営環境が更に続くと考えられます。このような状況から、前回業績予想に対し、主に自動車関連情報分野において若干の売上高修正を行っております。また、利益につきましては、前回業績予想と同程度になると想定しております。第2四半期累計期間においては、原価を中心に営業費用の抑制に取り組みました結果、平成20年5月12日に発表した予想を上回り、過去最高の利益をあげることとなりました。しかしながら、今後の競合激化への対応と強固な事業基盤の確立を目的に、インターネットプロモーションの強化を図る等、一時的な費用の増加を見込んでおります。なお、今回の修正業績予想から、事業環境の変化等により業績に変動を与える可能性のある事象が生じた場合等においては、適時に業績予想の見通しについて検討を行ってまいります。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外：株式会社プロトリンク

当社グループ全体の経営資源の集中と競争力向上を図ることを目的として、平成20年6月1日をもって当社を存続会社とする吸収合併を行い、株式会社プロトリンクは消滅いたしております。

除外：株式会社ボムルドットコム

当社グループ全体の経営資源の集中と競争力向上を図ることを目的として、平成20年4月30日をもって連結子会社である株式会社ジェイペックスパートナーズを存続会社とする吸収合併を行い、同子会社である株式会社ボムルドットコムは消滅いたしております。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 1. 簡便な会計処理

###### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

###### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項ありません。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を、第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

###### ②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この変更により、税金等調整前四半期純利益が2,966千円減少しております。

###### ③連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,504,304	9,135,447
受取手形及び売掛金	2,262,340	2,739,587
商品	244	113
製品	13,800	25,040
原材料	1,612	480
仕掛品	20,349	12,143
繰延税金資産	305,572	96,918
その他	317,127	288,861
貸倒引当金	△1,654	△3,223
流動資産合計	13,423,696	12,295,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,885,698	1,782,191
土地	3,138,392	2,174,459
その他(純額)	119,294	255,829
有形固定資産合計	5,143,385	4,212,480
無形固定資産		
のれん	58,794	72,996
その他	166,582	189,185
無形固定資産合計	225,377	262,181
投資その他の資産		
投資有価証券	484,221	588,689
繰延税金資産	429,644	383,685
その他	1,333,275	1,307,264
貸倒引当金	△25,235	△26,246
投資その他の資産合計	2,221,905	2,253,392
固定資産合計	7,590,667	6,728,054
資産合計	21,014,363	19,023,424

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,226,215	1,744,157
未払費用	1,246,981	906,533
未払法人税等	1,550,338	980,655
前受金	2,155,839	1,987,442
返品調整引当金	53,621	54,224
賞与引当金	37,266	36,378
その他	214,187	286,541
流動負債合計	6,484,449	5,995,932
固定負債		
退職給付引当金	30,236	27,049
役員退職慰労引当金	186,825	191,858
負ののれん	29,760	33,067
その他	344,152	341,331
固定負債合計	590,974	593,306
負債合計	7,075,423	6,589,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,824,620	1,824,620
資本剰余金	2,011,587	2,011,536
利益剰余金	10,014,529	8,439,991
自己株式	△11,356	△10,385
株主資本合計	13,839,380	12,265,761
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△27,918	6,154
為替換算調整勘定	22,572	32,952
評価・換算差額等合計	△5,346	39,106
少数株主持分	104,906	129,317
純資産合計	13,938,940	12,434,185
負債純資産合計	21,014,363	19,023,424

## (2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	11,768,353
売上原価	4,459,246
売上総利益	7,309,107
返品調整引当金戻入額	54,224
返品調整引当金繰入額	53,621
差引売上総利益	7,309,710
販売費及び一般管理費	
役員報酬及び給料手当	1,854,575
役員退職慰労引当金繰入額	7,312
賞与引当金繰入額	25,245
広告宣伝費	635,442
貸倒引当金繰入額	5,888
のれん償却額	14,201
その他	1,715,013
販売費及び一般管理費合計	4,257,679
営業利益	3,052,030
営業外収益	
受取利息	5,813
受取配当金	8,556
負ののれん償却額	3,306
古紙売却収入	17,340
その他	13,716
営業外収益合計	48,733
営業外費用	
投資事業組合運用損	37,691
その他	1,299
営業外費用合計	38,990
経常利益	3,061,772
特別利益	
投資有価証券売却益	13,328
過年度損益修正益	50,649
特別利益合計	63,977
特別損失	
たな卸資産評価損	2,966
固定資産除却損	19,052
投資有価証券評価損	516
役員退職慰労金	154
特別損失合計	22,689
税金等調整前四半期純利益	3,103,060
法人税、住民税及び事業税	1,524,107
法人税等調整額	△232,929
法人税等合計	1,291,177
少数株主損失(△)	△24,185
四半期純利益	1,836,068



(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,103,060
減価償却費	96,948
のれん償却額	14,201
負ののれん償却額	△3,306
デリバティブ評価損益(△は益)	1,186
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,033
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,275
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,705
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△603
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,580
受取利息及び受取配当金	△14,369
投資事業組合運用損益(△は益)	37,691
匿名組合投資損益(△は益)	△8,643
投資有価証券売却損益(△は益)	△13,328
たな卸資産評価損	2,966
投資有価証券評価損益(△は益)	516
固定資産除売却損益(△は益)	17,517
売上債権の増減額(△は増加)	443,653
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,604
仕入債務の増減額(△は減少)	△517,280
未払費用の増減額(△は減少)	362,289
前受金の増減額(△は減少)	168,396
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,722
その他	△58,062
小計	3,637,529
利息及び配当金の受取額	14,484
法人税等の支払額	△959,550
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,692,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,005,466
無形固定資産の取得による支出	△61,715
長期前払費用の取得による支出	△13,215
投資有価証券の取得による支出	△11,103
投資有価証券の売却による収入	32,538
その他	13,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,045,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△1,020
自己株式の処分による収入	101
配当金の支払額	△261,267
財務活動によるキャッシュ・フロー	△262,185
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,037
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,368,856
現金及び現金同等物の期首残高	8,985,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,354,304

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	自動車関連 情報(千円)	生活関連 情報(千円)	不動産 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,030,023	544,467	94,479	99,382	11,768,353	—	11,768,353
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,700	1,325	3,025	(3,025)	—
計	11,030,023	544,467	96,180	100,707	11,771,378	(3,025)	11,768,353
営業利益 又は営業損失(△)	3,859,712	28,564	25,715	△59,778	3,854,215	△802,184	3,052,030

(注) 1 事業区分は、主として情報コンテンツの内容にて区分しております。

2 各事業の主な情報コンテンツ等

- (1) 自動車関連情報 クルマ情報誌「Goo」、クルマ・ポータルサイト「Goo-net」
- (2) 生活関連情報 レッスン情報サイト「VeeSCHOOL.com」、有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」
- (3) 不動産 不動産賃貸
- (4) その他 見えるサイト内検索「MARS FINDER」ほか

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、記載を省略いたしております。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略いたしております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 【参考】

前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) 前中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	11,345,414	100.0
II 売上原価	5,044,519	44.5
売上総利益	6,300,895	55.5
返品調整引当金戻入額	45,638	0.4
返品調整引当金繰入額	47,558	0.4
差引売上総利益	6,298,975	55.5
III 販売費及び一般管理費	4,394,795	38.7
営業利益	1,904,179	16.8
IV 営業外収益		
1 受取配当金	7,852	
2 保険戻戻金	—	
3 古紙売却収入	10,945	
4 匿名組合投資収益	4,732	
5 その他	18,729	42,259
V 営業外費用		
1 為替差損	6,220	
2 投資事業組合損失	8,471	
3 その他	2,396	17,087
経常利益	1,929,350	17.0
VI 特別利益		
1 固定資産売却益	—	
2 投資有価証券売却益	—	
3 関係会社株式売却益	89,043	
4 前期損益修正益	—	
5 その他	1,855	90,899
VII 特別損失		
1 固定資産売却損	12,572	
2 固定資産除却損	25,269	
3 投資有価証券評価損	—	
4 その他	170	38,012
税金等調整前中間(当期)純利益	1,982,238	17.5
法人税、住民税及び事業税	970,874	
法人税等調整額	70,470	1,041,344
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,173	0.0
中間(当期)純利益	938,720	8.3

## (2) 前中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間(当期)純利益	1,982,238
2 減価償却費	112,205
3 のれん償却額	63,019
4 役員退職慰労引当金の増減額	779
5 退職給付引当金の増減額	2,971
6 賞与引当金の増減額	1,723
7 返品調整引当金の増減額	1,920
8 貸倒引当金の増減額	△2,146
9 受取利息及び受取配当金	△10,755
10 支払利息	306
11 投資事業組合損益	8,471
12 匿名組合投資損益	△4,732
13 投資有価証券売却損益	—
14 関係会社株式売却損益	△89,043
15 投資有価証券評価損	—
16 固定資産除売却損益	34,942
17 売上債権の増減額	△104,141
18 たな卸資産の増減額	8,770
19 仕入債務の増減額	△79,100
20 未払費用の増減額	377,045
21 前受金の増減額	154,515
22 未払消費税等の増減額	△7,205
23 役員賞与の支払額	—
24 その他	△61,199
小計	2,390,583
25 利息及び配当金の受取額	10,713
26 利息の支払額	△306
27 法人税等の支払額	△1,078,487
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,322,502

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の払戻による収入	2,100
2 有形固定資産の取得による支出	△27,355
3 有形固定資産の売却による収入	5,276
4 無形固定資産の取得による支出	△32,856
5 投資有価証券の取得による支出	△85,200
6 投資有価証券の売却による収入	—
7 少数株主からの子会社株式の取得による支出	△10,576
8 少数株主への子会社株式の売却による収入	113,670
9 長期前払費用の支払による支出	△7,509
10 その他	1,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,972
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	—
2 長期借入金の返済による支出	—
3 自己株式の取得による支出	△1,558
4 配当金の支払額	△155,989
5 少数株主への配当金の支払額	△16,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,490
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	26,810
V 現金及び現金同等物の増減額	1,133,850
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,569,934
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	8,703,784

## (3) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	自動車関連 情報(千円)	生活関連 情報(千円)	不動産 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	10,693,176	425,698	88,235	138,303	11,345,414	—	11,345,414
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	5,746	—	5,746	(5,746)	—
計	10,693,176	425,698	93,982	138,303	11,351,161	(5,746)	11,345,414
営業利益 又は営業損失(△)	2,825,795	△19,795	37,959	△95,029	2,748,929	△844,750	1,904,179

(注) 1 事業区分は、主として情報コンテンツの内容にて区分しております。

## 2 各事業の主な情報コンテンツ等

- (1) 自動車関連情報 クルマ情報誌「Goo」、クルマ・ポータルサイト「Goo-net」  
(2) 生活関連情報 レッスン情報サイト「VeeSCHOOL.com」、有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」  
(3) 不動産 不動産賃貸  
(4) その他 見えるサイト内検索「MARS FINDER」ほか

## 【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、記載を省略いたしております。

## 【海外売上高】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略いたしております。

## 6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)
自動車関連情報	2,567,973	75.5
生活関連情報	126,340	140.7
その他事業	4,119	149.3
合計	2,698,433	77.2

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 生産実績につきましては、自動車関連情報、生活関連情報、その他事業における外注費を表示しております。不動産につきましては、生産実績がありませんので記載しておりません。

## (2) 受注実績

当社グループは、見込み生産を行っておりますので、該当事項はありません。

## (3) 販売実績

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)
自動車関連情報	11,030,023	103.2
情報登録・掲載料	9,562,328	105.0
情報提供料	1,467,694	92.7
生活関連情報	544,467	127.9
不動産	94,479	107.1
その他事業	99,382	71.9
合計	11,768,353	103.7

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 自動車関連情報の情報登録・掲載料につきましては、主に情報誌への広告掲載料であります。また、情報提供料につきましては、主に個人向け情報誌の本売上及び法人向けデータ提供料であります。  
 4 連結売上高に占めるクルマ情報誌「Goo」の割合は、45.6%であります。

地域別	当第2四半期連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)
北海道・東北地区	930,187	101.8
関東地区	4,495,711	109.6
東海地区	2,844,450	97.7
近畿地区	2,340,269	100.4
中国地区	473,739	103.8
九州地区	650,540	113.1
その他(海外)	33,454	60.3
合計	11,768,353	103.7

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。